

東長野病院 重症心身障害児（者）病棟の病床変更及び病棟建替

独立行政法人国立病院機構  
東長野病院  
院長 土屋 拓司

当院の重症心身障害児（者）病棟の計画は以下のとおりです。

1. 病床数の変更

(1) 目的

- ・当院の重症心身障害児（者）病棟（3ヶ病棟）の稼働率は、従前より100%前後（ショートステイ含む）で推移している。
- ・整備計画においては、長野県立こども病院からの要望でもあるポストNICUの機能整備を行い、医療的ケアの高い患者の受け入れ可能な病棟整備（個室の充実・療養環境の向上）、ショートステイを常時受け入れ可能とするための病室整備のための増床を図る。
- ・長野市で医療的ケアを必要とする患者を受け入れられる施設は当院のみであり、長期入所の待機登録者数は令和元年8月現在で11名、短期入所の利用登録者数は令和元年8月現在で28名である。
- ・医療的ケアの高い患者の受け入れを可能とするため、新のぞみC棟50床のうち10床は個室として計画しており、高度の医療的ケアを必要とする患者を受け入れられるよう個室の充実・療養環境の向上を図るものである。
- ・新のぞみC棟10床の増床により、待機患者の解消とショートステイ利用者の増加を見込んでいる。

(2) 病床数の増減

	区 分	変更前	変更後	差 引
のぞみA棟	一般（重心）	42	40	▲2
のぞみB棟	一般（重心）	42	40	▲2
のぞみC棟	一般（重心）	40	50	+10
東2階病棟	一般	43	43	0
東3階病棟	一般	46	46	0
合計		213	219	+6

(3) 時期（予定）

- ・令和3年9月より病床数を変更

## 2. 病棟の建替え

### (1) 目的

- ・ 当院の重症心身障害児（者）病棟は、3ヶ病棟（のぞみA棟平成13年建築、のぞみB棟平成16年建築）であり、のぞみC棟は昭和51年建築と建築後43年以上経過している。
- ・ のぞみC棟は各部の損傷、設備の機能低下等老朽化が著しく、特に、患者が高齢化・重症化等により個室対応の必要性から病棟の更新築を行うものである。

### (2) 場所

- ・ 現在ののぞみC棟を取り壊し、新のぞみC棟を新築する。  
なお、のぞみC棟の患者は、工事期間中は旧重心B病棟に移動する。

### (3) 時期（予定）

- ・ 令和2年1月～令和2年6月 旧重心B病棟の改修工事
- ・ 令和2年7月 旧重心B病棟の使用開始
- ・ 令和2年7月～令和2年9月 のぞみC棟の解体工事
- ・ 令和2年10月～令和3年8月 新のぞみC棟の新築工事
- ・ 令和3年9月 新のぞみC棟の使用開始

※入札不調により、病棟建替えの時期（予定）は変更になります。

今後の予定は、国立病院機構本部と調整中です。